

2019年 秋田地本政策集会成功裡に終了！

9月13日、秋田市「県保健センター」にて地本政策集会を開催しました。秋田地本はこれまでの政策フォーラムを振り返り、政策提言することだけが目的になっている課題を克服するため、組合員と共につくる政策提言を目指し集会形式で開催しました。職場問題や組合員が日々感じている事にスポットを当てた提言により、参加した組合員から多くの意見が出され、提言内容を深めることができました。職場の実態に即した意見や今後考えられる問題点など、労働者の視点で会社施策に向き合う意見で提言材用を更に充実させるものとなり、更に良い提言へ繋がる集会になり大成功で終了しました。また、本部から徳野副委員長・銭谷組織研修担当部長から参加いただき、JR 東労組を取り巻く情勢について報告され、参加した全組合員と現状の認識を一致させ、「秋のたたかい」を職場から創り出していくことを確認しました。

第1部の政策提言では「**奥羽北線の安定輸送の確保と将来の職場を創造しよう！**」が提言されました。大館運輸区が廃止となることにより、どのような影響が発生していくのかを職場の組合員と共に掘り下げ、自分たちが感じている問題点を改善していくために意見を集約し、その中から自分たちが考える改善策を創り上げた提言を行い、参加した組合員の意見で更に提言内容を深めました。

第2部では「**新たなジョブローテーションと組合員の声**」として提言を行いました。新たなジョブローテーション実施にあたって本部交渉が終了し、会社の目指すものが明らかになっていく一方で、組合員の要求で勝ち取れたものと取れないものも明らかになりました。再度、社会情勢・交渉議事録を捉え返し、ジョブローテーション施策にどう向き合っていくべきか、今後の運用場面においては地方と首都圏では現実が全く違うため、地方交渉へ繋げていくべく組合員から発言をいただきました。施策にどのように向き合い、組合委員と共に職場運動を創り出すための方向性を確認してきました。

奥羽北線の安定輸送の確保と 将来の職場を創造しよう！

第1部

JR東労組秋田地本能代支部
東能代運輸区分会
大館運輸区分会



新たな ジョブローテーション と組合員の声

第2部

～組合員の声で未来ある施策を実現させよう！～



組合員と共に職場運動を強化し、提言実現のため交渉事案を深めよう！